



國家華語測驗推動工作委員會

Steering Committee for the Test Of Proficiency-Huayu (SC-TOP)

24449 新北市林口區仁愛路一段2號資訊與教學大樓B棟7樓

TEL:886-2-7734-5638

FAX:886-2-2601-4181

URL:<http://www.sc-top.org.tw>

E-mail:[service@sc-top.org.tw](mailto:service@sc-top.org.tw)

# 電腦化適性測驗 Q & A

## コンピュータ適応型測驗 Q & A

一、華語文電腦化適性測驗(TOCFL CAT)和之前的電腦測驗(CBT)有甚麼不同？

華語文コンピュータ適応型測驗 (TOCFL CAT) と従来のコンピュータ試験 (CBT) では、何が違いますか？

華語文電腦化適性測驗(TOCFL CAT)與 GRE、GMAT、BULATS 考試採用相同技術，以試題反應理論(item response theory)為基礎，此一測驗的特色為考生報名時不需選擇測驗等級，電腦會根據考生作答每個題目的結果，即時估計考生能力，並選出最適合考生的下一道試題。由於每個題目都是依據考生能力所選出來的，因此和一般測驗相比，只要較少的題目就能有相同的精準度(accuracy)。

華語文コンピュータ適応型測驗 (TOCFL CAT) は、GRE・GMAT・BULATS といった他の検定試験で採用されているものと同じ技術を用い、項目応答理論(item response theory)を基礎としています。この検定試験の特色は、受験者が解答した結果からコンピュータが即座に能力を見積もり、最も適した次の問題を選び出すため、受験者は出願時に試験レベルを選択する必要がないことです。こうした方式により、一般的な検定試験に比べて少ない問題でも、同等の精確性(accuracy)を確保することができます。

二、現在開始辦理電腦適性化測驗(CAT)，是不是未來就不再舉行分等級報名的電腦測驗(CBT)了呢？

コンピュータ適応型測驗 (CAT) が実施されていますが、受験するレベルを分けて出願するコンピュータ試験 (CBT) は将来実施されなくなるのですか？

原有分等級報名的電腦測驗(CBT)仍會持續定期辦理，不定期的專案考試則採電腦化適性測驗(CAT)，您可以選擇自己想要的考試方式，最新考試訊息請參閱官網首頁的[考試日程表](#)。

従来のように受験するレベルを分けて出願するコンピュータ試験(CBT)は、これからも定期的に実施する予定です。不定期に行われるグループ試験は、コ



國家華語測驗推動工作委員會

Steering Committee for the Test Of Proficiency-Huayu (SC-TOP)

24449 新北市林口區仁愛路一段2號資訊與教學大樓B棟7樓

TEL:886-2-7734-5638

FAX:886-2-2601-4181

URL:<http://www.sc-top.org.tw>

E-mail:[service@sc-top.org.tw](mailto:service@sc-top.org.tw)

ンピュータ適応型測驗 (CAT) の方式で行います。受験者の希望により受験方式が選択できるので、試験実施に関する情報はオフィシャルサイト内の「[考試日程表 \(試験カレンダー\)](#)」を参照して下さい。

三、我最後的成績是入門級(或基礎級)，可是答題的過程中，出現一些題型是進階高階級的題目，這是為什麼呢？

受験終了時に入門級（或いは基礎級）という成績が示されましたが、問題に答えていく過程では進階高階級の出題形式による問題も出されました。これはなぜですか？

電腦系統會依據考生作答結果，即時估計能力值並挑選題目，所以考生在作答的過程中，能力估計值會不斷變化，每位考生作答到的題目也會因其作答反應的穩定性而有所不同，是故最後成績落在入門級或基礎級的考生，可能會作答到部分進階高階級的試題，這是正常的。

且因 TOCFL 所有試題已經透過等化(equating)的程序，將題目難度(item difficulty parameter)連結(link)到同一個量尺(scale)上，無論您作答到哪個等級的試題，都可以準確計算出您的成績。

受験者が各問題に解答した結果に従って、コンピュータが直ちに能力値を見積もり、次の問題を選び出します。解答する過程で、コンピュータによる能力の見積もり値は絶えず変動します。つまり、一人一人の受験者にどのような問題が出されるかは、各自の項目応答が安定しているかどうかに応じて、ある程度異なってくるわけです。ですから、最終的に入門級或いは基礎級の成績が示された受験者にも、部分的に進階高階級の問題が出されるというのは正常なことです。

なおかつ、TOCFL の試験問題はいずれも等化 (equating) 処理を施し、項目困難度 (item difficulty parameter) を同一尺度 (scale) 上にリンク (link) させたものです。ゆえに、どのレベルの問題かに関係なく、成績を精確に算出することができるのです。

四、 閱讀測驗有 60 分鐘，我作答完後還有時間，為什麼不能讓我回頭修改答案？



國家華語測驗推動工作委員會

Steering Committee for the Test Of Proficiency-Huayu (SC-TOP)

24449 新北市林口區仁愛路一段2號資訊與教學大樓B棟7樓

TEL:886-2-7734-5638

FAX:886-2-2601-4181

URL:<http://www.sc-top.org.tw>

E-mail:[service@sc-top.org.tw](mailto:service@sc-top.org.tw)

閱讀測驗の試験時間は60分間ですが、解答終了後まだ時間が残っていたのに、最初に戻って答案を修正することが許されませんでした。これはなぜですか？

CATの機制は電腦根據考生先前試題作答結果、即時估計能力値並挑選下一道適合考生的題目、因此點選答案進入到下一題後、就不能再返回檢查或修改答案。

コンピュータ適応型測驗(CAT)の仕組みは、受験者がそれまでに解答した問題の正誤に基づいて、コンピュータが直ちに能力を見積もり、最も適した次の問題を選び出すものです。ですから、一度解答して次の問題に移った後は、前の問題に戻って見直しや答案の修正を行うことはできません。

五、為什麼在閱讀測驗，有的人總共作答了30題或35題，而我只作答了27題？

閱讀測驗で、ある人の解答した問題数は合計30問、或いは35問ありましたが、私の解答した問題数は27問しかありませんでした。これはなぜですか？

閱讀測驗的作答時間是60分鐘，因每個人作答速度不同，作答總題數會有一些差異，大約介於25-40題之間。考試時間結束或當電腦確定考生的能力時，就會自動結束考試，並顯示成績和通過等級。

由於CAT本來的設計就是可用較少的題數，同樣精確估算出能力値；加上成績是依據每位考生作答的題目難度和答對與否來計算，因此作答題數稍有不同並不會影響成績計算結果。

華語文閱讀測驗の解答時間は60分間ですが、一人一人の解答速度の差異に応じて、出される問題の総数にも幾らかの幅があり、おおよそ25問~40問のあいだとなります。試験時間終了時、或いはコンピュータが受験者の能力を確定できた時点で、試験は自動的に終了し、成績及び合格したレベルが開示されます。

コンピュータ適応型測驗(CAT)は本来、問題数を少なめに抑えつつ、一般的な検定試験と同様の精確さで能力値を見積もれるように設計されています。なおかつ、成績は受験者それぞれが解答した問題の項目難易度と解答内容の正



國家華語測驗推動工作委員會

Steering Committee for the Test Of Proficiency-Huayu (SC-TOP)

24449 新北市林口區仁愛路一段2號資訊與教學大樓B棟7樓

TEL:886-2-7734-5638

FAX:886-2-2601-4181

URL:<http://www.sc-top.org.tw>

E-mail:[service@sc-top.org.tw](mailto:service@sc-top.org.tw)

誤に基づいて計算されるため、解答した問題数の違いが成績計算の結果に影響することは決してありません。

## 六、關於這個新的考試方式，我有什麼要注意的？

この新しい試験方式に関し、どのようなことに注意すべきですか？

因為電腦系統會根據作答結果，即時估計考生能力，並挑選下一題最適合的題目，加上每位考生作答到的題目不同，建議考生在考試前熟悉各個等級的題型和作答方式，以降低考試時的緊張情緒，表現出最佳水準。

此外，對於閱讀測驗作答題數過少考生，華測會會設定最低作答題數限制，若閱讀測驗作答題數不到25題的考生，其成績會受到影響，將依答題數比例做調整，請妥善分配各題的作答時間。

この試験方式は、受験者の解答結果に従って、コンピュータシステムが直ちに能力を見積もり、次の問題として最も適切なものを選び出します。更に、一人一人の受験者に出される問題は異なるので、試験時の緊張を減らし、実力を十分に発揮できるようにするためにも、あらかじめ各レベルの出題形式と解答方式を熟知することをお勧めします。

加えて、閱讀測驗で解答する問題が少なすぎる受験者に対処するため、國家華語測驗推動工作委員會（華測會）では、試験時間内に解答する問題数に最低限度を設けています。解答した問題が25問未満である場合には、その問題数に比例した成績調整を行うので、各問題に解答する時間を適切に配分することをお勧めします。